

第29回天敵利用研究会群馬大会プログラム（案）

日時：令和元年11月12日（火）13:00～13日（水）15:00

会場：前橋テルサ ホール（群馬県前橋市千代田町2丁目5番1号）

主催：天敵利用研究会、（一社）全国農業改良普及支援協会

後援：群馬県

第1日目：11月12日（火） 受付：12:20～

【開会】

13:00 あいさつ、事務連絡

【一般講演】 講演時間12分（1鈴10分、2鈴12分）、質疑3分（終鈴15分）

講演者は次の講演の座長を担当（1番と8番は事務局が担当）

- 13:10 1 トマト黄化葉巻病耐病性品種利用の現地長期栽培トマトにおける、天敵タバコカスミカメ9月放飼によるタバココナジラミの総合防除
○斉藤千温・土井 誠・吉崎涼花・片山晴喜（静岡農林技研）・中野亮平（静岡農林技研・宮崎大）
- 13:25 2 沖縄県におけるクレオメ利用時の課題と対策－高温時の発芽率の低下・うどんこ病－
○秋田愛子（沖縄県農業研究センター）・安次富厚（沖縄県農業研究センター石垣支所）・上里卓己（沖縄県農業研究センター）・守屋伸生（沖縄県農業研究センター名護支所）
- 13:40 3 沖縄におけるアザミウマ捕食性天敵カメムシ類に適した天敵温存植物の選定（秋春期）パート2
○上里卓己・秋田愛子（沖縄県農業研究センター）
- 13:55 4 タバコカスミカメを基盤としたトマトのIPM体系について
○日本 典秀（農研機構中央農研；現所属・京都大学大学院農学研究科）・安部 順一郎（農研機構西日本農研）・長坂 幸吉（農研機構中央農研）
- 14:10 5 トマトのタバココナジラミに対する土着天敵イトカメムシの生物的防除資材としての可能性
○柿元一樹（鹿児島県農業開発総合センター）・巽えり子（住化テクノサービス(株)）
- 14:25 6 ナミヒメハナカメムシの虫体に含まれる行動制御因子の探索
○上原拓也・前田太郎・霜田政美（農研機構 生物機能利用部門）・辻井 直・安居拓恵（農研機構 中央農業研究センター）
- 14:40 7 定着促進資材を利用したアカメ®によるヒラズハナアザミウマ防除～愛媛県現地イチゴ圃場試験
窪田聖一（愛媛県農林水産研究所）・大朝真喜子（石原産業(株)）・吉村勝彦・東田景太（石原バイオサイエンス(株)）・○森光太郎（石原産業(株)）
- 14:55 休 憩 （15分）

【シンポジウム】「天敵利用、普及上の課題と解決に向けたアプローチ」

座長：柿元一樹（鹿児島県農業開発総合センター）

- 15:10 S1 「なぜ、高知県の施設園芸で天敵利用が進んだのか。
ー普及現場での課題解決に向けた取り組み・活動についてー」
山口説夫（高知県須崎農業振興センター）
- 15:40 S2 「群馬県における天敵利用の現状と今後の課題」
池田健太郎（群馬県農政部技術支援課）
- 16:10 S3 「全国におけるIPMへの取り組み状況」
草間直人（全国農業改良普及支援協会）
- 16:40 総合討論（50分）

【情報交換会】

18:00 会場 前橋テルサ 8階 けやきの間
群馬県前橋市千代田町2丁目5番1号 TEL: 027-231-3211

第2日目：11月13日（水） 開場：9:30～

【一般講演】

- 9:45 8 ミヤコバンカー[®]の上手な設置方法～長崎県現地イチゴ圃場での検証
○大朝真喜子（石原産業(株)）・中村久広・松尾孝則・中島哲男（石原バイオサイエンス(株)）・一瀬寿幸（JA全農ながさき総合営農推進センター）
- 10:00 9 紙コップを用いた放飼増強法における天敵および餌ダニの移出
○古賀雅人・大野和朗（宮崎大学農学部）
- 10:15 10 岩手県内のリンゴ園に発生するカブリダニ類の有機リン系、合成ピレスロイド系殺虫剤に対する感受性
○岸本英成（農研機構果樹茶部門）・加藤真城（岩手県農業研究センター）・降幡駿介・外山晶敏（農研機構果樹茶部門）
- 10:30 11 ミヤコカブリダニ製剤の設置時期が温室ニホンナシほ場におけるハダニの発生に及ぼす影響
○三川裕也（宇都宮大学農学部）・森光太郎（石原産業(株)）・外山晶敏（NARO果樹茶業研究部門）・園田昌司（宇都宮大学農学部）
- 10:45 12 天敵カブリダニ類を利用した施設バラにおけるハダニ類防除
○上村香菜子（福岡県農林業総合試験場）
- 11:00 13 チリカブリダニにおけるバクテリア感染の実態と影響
○吉永英樹（宮崎大学農学部）・安達鉄矢（宮崎大学TT機構）・大野和朗（宮崎大学農学部）
- 11:15 14 テントウムシ3種の波長選好性
○村田篤志（筑波大学大学院生命環境科学研究科）・山口照美（農研機構生物機能利用研究部門）・手塚俊行（アグリ総研）・戒能洋一（筑波大学大学院生命環境科学研究科）、霜田政美（農研機構生物機能利用研究部門）

- 11:30 15 アザミウマ4種の波長選好性の特徴について
○大木碩仁(日大 生産工 農研機構生物機能)・荻野拓海(筑波大 生命環境)・山口照美(農研機構生物機能)・野呂知加子(日大 生産工)・戒能洋一(筑波大 生命環境)・蟻川謙太郎(総研大 先導科学)・霜田政美(農研機構生物機能)
- 11:45 休 憩(幹事会)

【一般講演】

- 13:00 16 ヘチマ施設栽培の現地圃場における天敵利用の効果と課題
○新崎千江美(沖縄県南部農業改良普及センター)・棚原尚哉(沖縄県農業研究センター)
- 13:15 17 二次植物を用いたタマネギとキャベツの土着天敵利用の検討
○関根崇行・大坂正明・大江高穂・駒形泰之(宮城農園研)・上杉龍士(農研機構・東北農研)・安部順一郎(農研機構・西日本農研)
- 13:30 18 広島県の実情からみた天敵利用技術の普及手法の検討—対人関係性の視点を中心に—
○西濱健太郎・星野 滋(広島県立総合技術研究所農業技術センター)
- 13:45 19 露地ナスの天敵保護栽培で発生するタバコノミハムシの薬剤感受性と発生生態に関する若干の知見
○井村岳男・山口貴大(奈良県農業研究開発センター)
- 14:00 20 次世代型バンカー資材キットの活用方法について
○長坂幸吉・日本典秀¹・光永貴之・有本 誠(農研機構中央農研)・手塚俊行・小原慎司・伊藤健司(株)アグリ総研)・八板 理・春山直人・大野茉莉・小林 誠²・福田充(栃木県農業試験場)・関根崇行・鈴木香深・駒形泰之(宮城県農業・園芸総合研究所)・柳田裕紹³・清水信孝・鍋谷 霞・上村香菜子(福岡県農林業総合試験場)・姫野和洋⁴・竹内 実・野村雄太・山村駿太郎(大分県農林水産指導センター)¹現京都大学、²現栃木県那須農業振興事務所、³現福岡県農林水産部、⁴現大分県南部振興局
- 14:15 21 天敵線虫製剤「バイオセーフ」を用いたクビアカツヤカミキリ防除について
○内舩 肇(出光興産(株))・田辺 博(株)エス・ディー・エス バイオテック)
- 14:30 22 ハモグリヤドリタマバチ(膜翅目:ヤドリタマバチ科)の卵成熟様式の検討
○鵜 亜嬌(ウー アキョウ)(九大・院・地球社会)・阿部芳久(九大・院・比文)
- 14:45 23 保全的生物的防除の IPM 体系での位置づけ~オクラ露地ほ場におけるアブラムシ天敵群集の評価
○大野和朗・吉永英樹・Simone Manu・古賀雅人(宮崎大学農学部)
- 15:00 閉 会